



片瀬山防災会

片瀬山防災だより

第25号 平成27年 1月25日

防災訓練の報告

●参加人員・総計 295名
 1丁目自治会 29名
 2丁目自治会 31名
 3丁目自治会 60名
 4丁目自治会 59名
 5丁目自治会 72名
 (片瀬山自治会計 251名)

●実施日時:H26. 11. 30(9時~11時40分)
 片瀬地区町内会・自主防災会 14名
 他地区 自治会・自主防災会 2名
 藤沢市消防団、予防課、建築指導課 12名
 NPO法人 藤沢市救急普及推進会 3名
 片瀬市民センター・市避難施設専従職員 11名
 いきいきサポートセンター・おがた商会 2名

* 片瀬地区自主防災会の関係者が片瀬山の安否確認訓練の様子を見学に来られました。

◎安否確認には、繰り返し訓練を行うことにより、時間を短縮できました。

◎片瀬中学校での訓練の様子



・グラウンド集合



・消防車試乗



・通電火災防止装置(電源遮断ボール)



・災害時トイレの水は流せません
・簡易トイレ・処理材のあれこれ



・屋外簡易トイレ



・AED操作訓練



・車イス操作訓練



・倒壊防止器具・装置の説明



・アルファー米炊出し試食



・津波シュミレーション放映



・発電機操作訓練



・消火器操作訓練

今回は ①見るだけでなく実際に体験して頂くことに重点を絞った。

②展示品を購入する際の参考として、購入先や参考価格を記入したシートを用意した。

繰り返す訓練こそが、巨大災害からいち早くあなたを守ります。 次回も多くの参加を！

火事は全てを奪います

火災を防ぐ・初期消火・伝える・逃げる

最も危険な火災シーズンに入りました。各自火災に充分ご注意ください。

片瀬山でも昨年11月中旬、犠牲者が出る火災が発生しました。

巨大災害時はもとより普段の生活の中でも一寸の油断から、対策を疎かにしていたため、思わぬ大火災に見舞われるという事態になりかねません。

火災を防ぐ

対策 住宅火災警報器：設置する場所・警報器の種類等、専門家に相談する
離れている部屋にも聞こえるように、無線式を設置しよう
設置済みのお宅は電池式なので電池切れに注意
10年経過したら、警報器の取り替えを

お出かけ前・おやすみ前・お料理の後にもう一度火の元確認

原因（平成25年度藤沢市内火災原因：藤沢南消防署調べ）

1位 放火：31/110件 約3割……家の周りを整理整頓

2位 ガスコンロ：天ぷら料理の油（料理中の着衣着火）16/110件

多めの油と鍋底の油やゴミを取り除く。センサーを機能させるため

IH（電磁調理器）でも要注意

3位 タバコの不始末：9/110件……寝タバコは厳禁

その他 漏電：ブレーカー遮断装置で防ぐ（停電後の通電による漏電）

コンセントのホコリが原因（特に家具裏のコンセント）等

結果 平成25年度 死亡者4名 負傷者19名 損害額 1億5千4百万円

初期消火

- ・小型消火器を火元になりそうな所、数か所に備える
- ・炎が天井に達する前に初期消火活動（消火器を火元に徐々に近づけ消火）
- ・天井に達してしまったら“火事”である事を消防署に通報する。
（携帯電話から通報するより、近隣の一般電話の方が場所の特定が容易）

近所へ大声で伝達しながら火元から逃げる

消化活動

- ・消火活動は消防士に任せ、住民は火元から離れ手を出さない
- ・消防士に協力：火災家屋の中の人の存在を知らせる
火災家屋の間取りを知らせる

近隣との繋がりを密にする事で被害を軽減

（近隣ネットとの連携）



ニュース 7 (NHK: H27.1.9)



未然に防ごう！電気器具火災（消防庁：H25.3）



（社）日本火災報知器工業会

編集後記：未然に防げる火災でありながら、一旦火事を起こすと信用を始め、命も、家も一瞬の内に全てを失ってしまいます。サア明日から火の用心、いや今からでショー



片瀬山防災会

発行：片瀬山防災会

連絡先：メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者：会長（若月） 編集責任者：広報（和田）